

平成28年1月13日 地方分権改革シンポジウム

# 京都府における分権改革

～分権改革から地域創生へ～

京都府知事 山田啓二



# 地方分権改革の必要性

## わが国を蝕む「死に至る病」

- 少子高齢化、人口減少の進展
- 止まらない東京一極集中



- 地域経済衰退による格差拡大

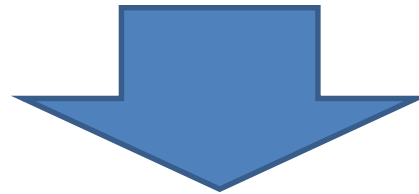


地方、都市の消滅、  
やがて日本の衰退

## 処方箋としての「分権改革」

- 自治体・住民が自ら考え、行動し、課題に対応するために、  
必要な体力(権限・財源)を増強

**意識改革**



**パラダイムシフト**

# 役割分担のパラダイムシフト ～京都ジョブパーク～

公労使(京都労働局、京都府、京都市、連合京都、京都経営者協会等)連携による共同運営

◆ 相談から就職、職場への定着まで、**ワンストップ**で支援する総合就業支援拠点

● 第1期  
(平成15～18年)

若年者就業支援  
センター

- ・若者のための**ワンストップ就業支援**
- ・京都府無料職業紹介事業の開始

● 第2期  
(平成19～23年)

京都ジョブパーク I

- ・公・労・使の「**オール京都体制**」を確立
- ・ハローワークの職業紹介機能を活用
- ・すべての働きたい方へ対象を拡大(障害のある方、子育て中の女性、生活支援が必要な方等)
- ・中小企業人財確保センター開設

● 第3期  
(平成24年～)

京都ジョブパーク II

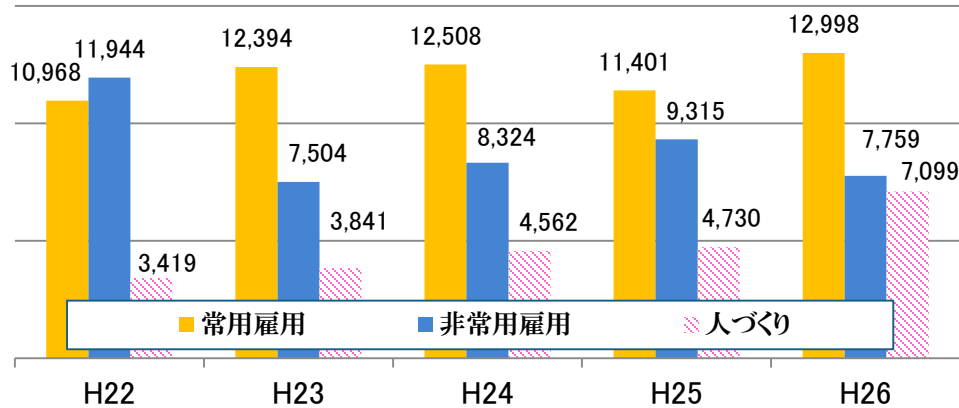
- ・全国初、国と地方の**完全一体型ジョブパーク**
- ・ハローワーク機能の拡充(雇用保険・訓練指示等)
- ・京都JPカレッジ(人づくり大学)開設
- ・北京都ジョブパーク開設

12年間の実績 : **就職内定者数(延べ)49,355人** 【26年度末現在】

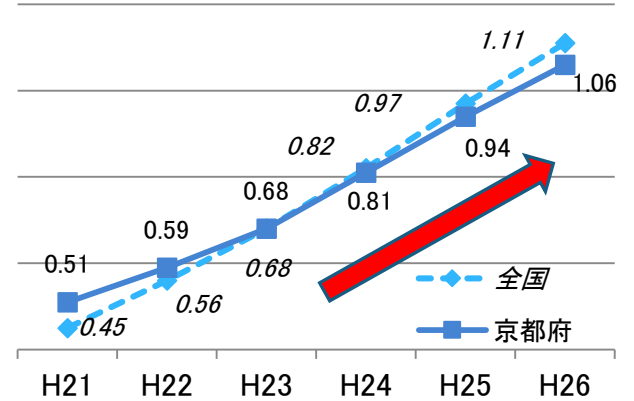
# 雇用対策の実績

●H22～26年度で約13万人の雇用を創出

■ 雇用創出の実績



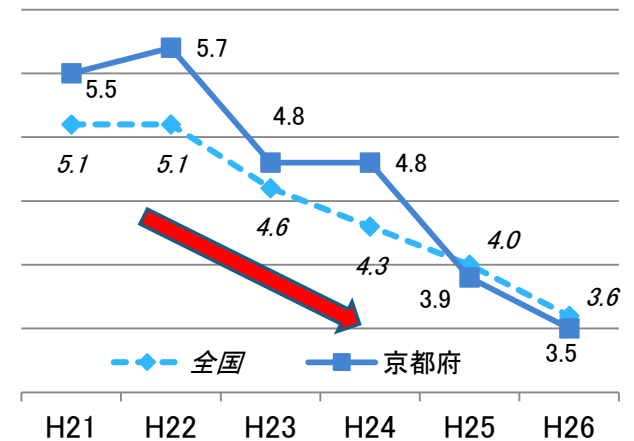
■ 有効求人倍率



■ 京都ジョブパークの就職内定者数



■ 完全失業率 %



# 広域行政のパラダイムシフト ～海の京都～

日本海に面する京都府北部地域は、古代より大陸文化の交流の窓口として栄え、皇室との縁も深く、多くの神話の舞台となる

## ◆豊受大神宮の伝承地

五穀をつかさどる女神「豊受大神」は、約1500年前に、丹波国から、伊勢神宮に遷座されたと伝えられている

## ◆間人（はしうど）皇后 滞在の地

聖徳太子の母・間人皇后は、6世紀末、大和政権の蘇我氏と物部氏との争乱を避け、今の京丹後市間人（たいざ）に、子の厩戸皇子（後の聖徳太子）とともに身を寄せられたと伝えられている

## 食・文化の拠点づくり

### ■「丹後王国『食のみやこ』」

「丹後あじわいの郷」をリニューアル  
10次産業（農林漁業分野における6次産業化+食産業に係る人材育成の4次産業化）の拠点として4月19日にオープン

### ■府立丹後郷土資料館

抜本的なリニューアルに向け基本計画の策定に着手

## 「海の京都博」

◆京都縦貫自動車道の全線開通を契機に、「海の京都観光圏」の取組成果を披露する滞在（交流）型コンテンツの博覧会を開催

➡ 自立・継続的な観光地域づくり、定住促進

神の箱庭を体感  
・日本一の砂浜海岸  
・ビーチフェス

舟屋の心地よさを体感  
・ウォーターフロントカフェ

縮緬の郷を体感  
・ちりめん街道  
・ミュージアム

静なる海の宝箱を体感  
・まいづるまち博

福を感じるお城  
・スイーツ博

情緒溢れる綾のまちを体感  
・レトロ散策

天につながる太古の聖地を体感  
・天橋立まち灯り  
7月中旬から1ヶ月、天橋立と周辺の神社やまちなかをライトアップし、天地和合の物語の舞台に新たな魅力を創出

# 連携中枢都市圏の中心都市となり得る都市

● 及び ○ は、中心都市となり得る都市  
うち、○ は、県庁所在地

- ① 地方圏の指定都市、新中核市(人口20万以上)
  - ② 昼夜間人口比率1以上
- 全国で61市が該当

◎ は、三大都市圏



# 連携中枢都市圏の取組の推進

## ● 短期・中長期の工程表

	2015年度まで	2016年度以降(2019年まで)
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○4圏域で「連携中枢都市圏」を形成</li> <li>○圏域を構成する市町村の事業実施に係る地方財政措置</li> <li>○モデル事業の実施</li> <li>○国土形成計画(全国計画)への「連携中枢都市圏」構想の反映</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「連携中枢都市圏」に対する支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域を構成する市町村の実施事業に係る地方財政措置</li> <li>・モデル事業の実施、先進的な地域連携の取組事例の情報提供</li> <li>・RESASや人口メッシュ推計等の情報提供</li> <li>・内発的な自立発展の推進調査</li> <li>・補助事業採択における配慮</li> <li>・圏域形成に向けた検討を後押しする支援策の検討</li> </ul> </li> </ul>
2020年KPI (成果目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○連携中枢都市圏の形成数:30圏域を目指す(2015年10月時点:4圏域)</li> <li>○市町村自らは、国の総合戦略を参考に、都市圏の特性を踏まえ、地域経済、高次都市機能及び生活関連機能に関する成果目標を設定</li> </ul>	

(まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプランから)

## ● 連携中枢都市圏の都市圏要件

地方圏において、昼夜間人口比率おおむね1以上の指定都市・中核市と、当該市と社会的、経済的に一体性を有する近隣市町村とで形成する都市圏

ただし、①を原則除く都市圏であって、隣接する2つの市(各市が昼夜間人口比率1以上かつ人口10万人程度以上の市)の人口の合計が20万人を超え、かつ、双方が概ね1時間以内の交通圏にある場合において、これらの市と社会的、経済的に一体性を有する近隣市町村とで形成する都市圏についても、①の都市圏と同等の取組が見込まれる場合においてこれを含むものとする。



# 京都府北部地域連携都市圏(イメージ)

～京都府北部5市2町の連携による  
魅力的な生活圏の構築～

イメージ図

ひとつの市であるかのように  
圏域全体として  
地域価値の向上を図る

産業

企業立地等産業集積の推進

観光

「海の京都」観光圏の推進

公共交通

地域資源を結び利便性の高い公共交通ネットワーク  
・京丹後鉄道を運行する純粋民間会社ウィラー社による  
ICTを活用した利便性の高い広域公共交通サービスの提供  
・バス等の2次交通網の整備  
・交通空白地におけるデマンド交通の整備

公共施設

公共施設の適正配置

Uターン

Uターン促進の強化

医療

各機関の特色を活かした  
高度な医療の提供

教育

福知山公立大学をはじめ、地域教育  
機関を核とした地域人材の育成

	行政面積 (km <sup>2</sup> )	2010年人口 (人)	2040年人口 (人)	合計特殊 出生率
福知山市	552.57	79,652	60,414	1.96
舞鶴市	342.10	88,669	66,522	1.87
綾部市	347.10	35,836	23,662	1.63
宮津市	172.87	19,948	11,780	1.65
京丹後市	501.84	59,038	38,278	1.73
伊根町	62.00	2,410	1,116	1.51
与謝野町	108.38	23,454	15,107	1.71
合計	2,086.86	309,007	216,879	府1.24

総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所  
「日本の地域別将来推計人口」、厚生労働省「人口動態  
保健所・市区町村別統計」



JRの連携性向上  
首都圏・関西圏へ良好なアクセス

○それぞれの市町の個性や得意分野を公共  
交通ネットワーク等により結びつけ、相互に  
役割を担い、圏域として都市機能・生活水準  
の向上を図る

○豊かな自然環境の下、医療・福祉、教育、  
交通等の充実した質の高い居住環境を創出

○密度の高い生活圏の形成による労働生産  
性向上を通じた所得の向上を図り、大都市で  
はできない文化的で若者や子育て世代に魅  
力ある生活圏をつくる



京都府北部地域連携都市圏形成推進宣言  
(平成27年4月22日)

# 税のパラダイムシフト ～京都地方税機構～

## ● 設立趣旨

- ・納税者の利便性向上
- ・公平・公正な税務行政の確立
- ・効果的・効率的な税務執行体制の整備 を目指し、

課税権は府・市町村に存することを前提に、賦課徴収業務の一部を府と市町村共同で実施する組織

「京都地方税機構」を設立(平成21年8月)

## ● 効果

- ・申告、納税の窓口の一元化
- ・コンビニ納税などの導入で納税しやすい
- ・徴税コストの削減と、増収

徴収率全国9位  
近畿府県トップ

【徴収率の推移】

(単位: %)

年度	22	23	24	25	26
府税合計	96.8	97.2	97.3	97.5	98.0
全国平均	96.0	96.2	96.5	96.9	97.4

# 住民意識のパラダイムシフト ～府民提案の公共事業～

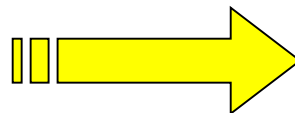
- 府民公募型整備事業(H21～ これまでに1万1千件以上の応募があり、採択件数は7,500件以上)

府民から身近な安心・安全等に関する改善箇所を公募し、地域や市町村からの要望とともに、事業箇所を決定する府民参加型の新しい公共事業

## 事業例



側溝蓋を設置し、  
歩行空間の確保



- 地域主導型公共事業(H24～ 23件)

地域(自治会等の地域団体)がまちづくりにつながる公共事業を提案し、地域、市町村、府が一体となって事業実施

- 公共空間活用推進事業(地域普請制度)(H23～ 14件)

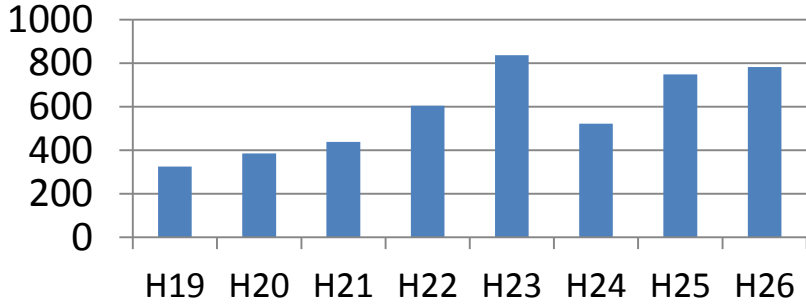
「府民公募型整備事業」をさらに一歩進め、行政が管理する道路や河川、公共施設などの「公共空間」を地域住民をはじめ多様な主体が一体的に整備・活用

# 住民意識のパラダイムシフト ～地域力再生プロジェクト～

人と人がつながった温かい地域社会を築き、  
みんなが智恵と力をあわせて

住民自治社会の新しいモデルを京都からつくる

→平成19年度から地域力再生プロジェクトをスタート

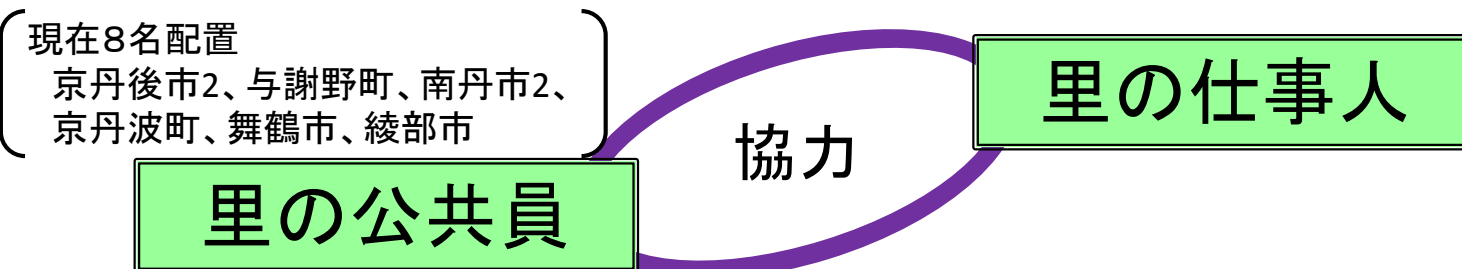
事業	実績																				
<p>地域力再生プロジェクト 支援事業交付金(H19～)</p>	H19:326事業	H20:386事業	H21:438事業																		
	H22:604事業	H23:837事業	H24:523事業																		
	H25:749事業	H26:782事業																			
	<p>合計:4,645事業 約16億円</p>																				
	 <table border="1"> <caption>地域力再生プロジェクト支援事業交付金実績</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H19</td><td>326</td></tr> <tr><td>H20</td><td>386</td></tr> <tr><td>H21</td><td>438</td></tr> <tr><td>H22</td><td>604</td></tr> <tr><td>H23</td><td>837</td></tr> <tr><td>H24</td><td>523</td></tr> <tr><td>H25</td><td>749</td></tr> <tr><td>H26</td><td>782</td></tr> </tbody> </table>			年度	事業数	H19	326	H20	386	H21	438	H22	604	H23	837	H24	523	H25	749	H26	782
年度	事業数																				
H19	326																				
H20	386																				
H21	438																				
H22	604																				
H23	837																				
H24	523																				
H25	749																				
H26	782																				

# 公務員のパラダイムシフト ～まちの公共員、里の公共員～

- 特定の地域課題に対し、地域に居住するなど、長期的に、多様な主体と協働しながら、解決策の創出と推進をマネジメントする半公半Xの人材。



【具体例】 八幡市男山地域において、団地再生を核とした地域の未来を考えるためのワークショップを開催し、課題抽出を行うとともに、その解決に向けた具体的な活動を地域住民とともに展開。



【具体例】 南丹市美山町において、廃校予定の小学校を活用した音楽フェスティバルの開催や、地域の若者と協働し、地元食材を使った「ムラガーレ食堂」の開設など地域活性化の取組を展開。

**京都府における地域創生**

**～京都創生から日本創成へ～**

# 京都府地域創生戦略の基本理念

## 課題

- ・低い合計特殊出生率
- ・若い働く世代の流出

## 京都流 地域創生

京都が持つ、悠久の歴史と伝統、世界水準の大学・研究機関や高い技術力を持った中小企業の集積、豊かな自然環境など他の地域にない魅力的な資源や資産にさらに磨きをかけ、

### 1 京都の未来を拓く人をつくる

◆社会の絆や大学のまち・京都の力を活かした新しい「**人づくり文化の創生**」

### 2 地域経済を活性化させ、仕事をつくる

◆自然や歴史・伝統など多様な地域資源を組み合わせた新しい「**産業文化の創生**」

### 3 京都への人の流れをつくる

◆豊かな自然の中で都市と田園の魅力を享受する新しい「**京都ぐらし文化の創生**」

### 4 持続可能で魅力と活力のある地域をつくる

◆市町村連携により圏域全体で経済・生活機能の向上を図る新しい「**地域づくり文化の創生**」

などに、府民、産、学、公、金融機関、労働団体、NPOなどオール京都で取り組み、

この国の未来を見据えた京都ならではの「**文化創生**」をめざす

## 地方分権改革のこれから

一つ一つの分権改革の積み重ねこそが  
地方創生であり、国を変えていく動き

連携・協働・交流を広げ、持てる力を結集し、  
新しい価値を創造していくことで  
地域創生から日本創成へとつなげていく



ご清聴ありがとうございました



京都府広報監 まゆまる